蔵小だより

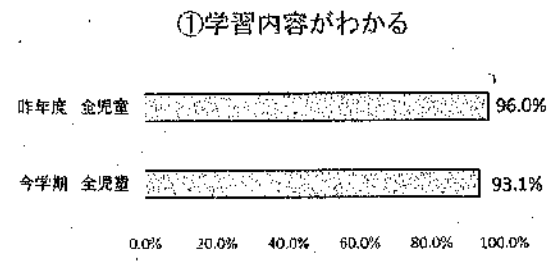
名張市立蔵持小学校
令和8年11月号 No.2
R8. 11. 4

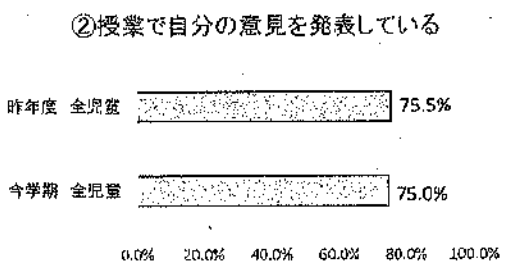
学校評価アンケートの結果をお知らせします

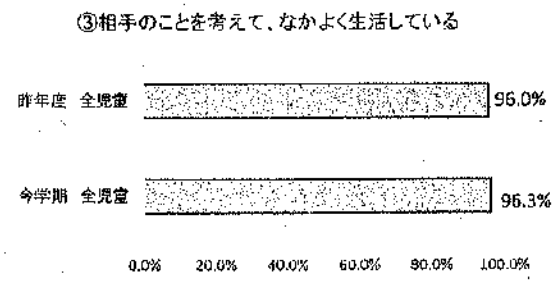
本校の学校評価にご協力いただき、ありがとうございました。本年度のアンケートの中から、いくつか特徴的な項目についてお伝えします。今回、皆様から寄せられた評価やご意見を参考に、よりよい学校づくりに向けて検討し生かしていきます。

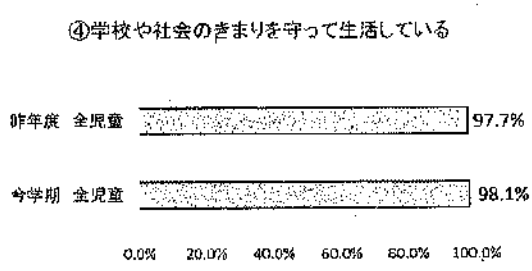
【児童評価～満足度～】

◎各項目について4段階（1:とてもそう思う　2:だいたいそう思う　3:あまりそう思わない　4:思わない）で評価し、うち「1」「2」の肯定的な回答をした児童数の全体の割合を、満足度としてグラフで示しています。









授業について①「学習内容が」、「よく分かる・分かる」と回答した児童は、昨年度に比べてやや減少し93.1%でした。また、②「授業で自分の意見を発表している」についての満足度も昨年度に比べ、75.0%とやや減少しています。しかし減少しているものの、多くの児童が肯定的な回答をしています。

本校では、「主体的な学び・対話を通した深い学び」の実現を目指して、課題に対して自分の考えを持ち、自分の言葉で伝えることを大切にしています。その取組の一つに、話し合いのスキル「対話力」の向上の取組があります。学級活動で「いいですねトーク」を行うとともに、授業においても「自分が考えたことをペアの友だちに伝えたい」「友だちが伝えてくれたことに、『分かったよ』と返したい」「自分は少し違う考えだな。グループで話し合ってみたい」など、対話する場面を設定することで、子どもたちの学びがより深まるような取組を進めています。

また、授業の中で、友だちの考えを聞き、自分の考えを友だちに伝える活動はともに認め合うことにつながり、それは生活の中でも表れています。③「相手のことを考えなかよく生活している」④「学校や社会の決まりを守って生活している」は昨年度に比べ微増し、先述の取組が多くの児童の肯定的な回答にも関係していると考えられます。日々の学校生活のなかでは、ときとして行き違いや思い違いがあり、児童が不安に感じることがあるかもしれません。学校として一人ひとりを丁寧に見守り、学習面においても児童の実態に合わせた指導と支援をしていきたいと思いますので、ご家庭でもお子様へのお声かけや励ましを、ぜひお願い申し上げます。